

不祥事根絶のための行動計画

【不祥事根絶に向けた本校の決意】

私たち布野中学校の教職員は、職責を自覚し、体罰、セクシュアルハラスメント、パワー・ハラスメントなどのない
安心・安全な学校を創ります。(行動規範)

①私たちは、子どもたちを守り、育てます。

②私たちは、授業力を向上させます。

③私たちは、子ども・保護者・地域と信頼関係を築きます。

④私たちは、保護者・地域と協力して子どもを育てます。

三次市立布野中学校
作成責任者 校長 吉浪 徳香

区分	本校の課題	行動目標	取組内容	点検方法・時期
教職員の規範意識の確立	○全職員の不祥事防止意識の一層の向上。 ○服務研修の実施形態の工夫が必要。	○行動規範の共有・実践 ○服務研修の手法や内容の改善	○服務研修の担当の分担制, 参加体験型研修の実施, 時機を得た研修の実施など手法, 内容を工夫することで参画意識を高め, 不祥事防止に対する自己意識を高める。 ○身のまわりの整理整頓と情報管理を行う。	○月に1回, チェックシートで点検する。 ○学期後半に全職員による整理整頓を実施する。
学校組織としての不祥事防止体制の確立	○不祥事防止委員会実施に当たり, 十分な時間確保ができなかったことがあった。	○不祥事防止委員会の定例開催による推進体制の確立・強化 ○教職員の健康等への配慮 ○教職員同士のコミュニケーションの一層の促進	○管理職による教職員面談の実施。 ○学校衛生委員会とも連携し, そこでの協議内容も踏まえて, 不祥事防止委員会で対応策を立て, 実行する。 ○職員個々の思いやアイデア等の交流・共有化をより一層図る。 ○肯定的, 共感的な視点での相互評価・指摘を行う。	○学期ごとに面談を実施する。 ○面談や学校衛生委員会での協議内容も踏まえて, 不祥事防止委員会で協議する。
相談体制の充実	○「体罰, セクシュアルハラスメント・パワーハラスメント・障害などを理由とする差別相談窓口」の, より一層の周知が必要。	○「体罰・セクシュアルハラスメント・パワーハラスメント・障害などを理由とする差別相談窓口」の周知を繰り返し行う。	○全校集会・学級での説明, 学校だより, 文書通知, HP, 教室掲示等により周知を徹底する。 ○生徒, 保護者, 教職員へのアンケートや面談による実態把握や課題把握を継続する。	○面談, アンケート実施により点検する。 ○その結果を踏まえ, 不祥事防止委員会で協議し, 必要に応じて改善を図る。